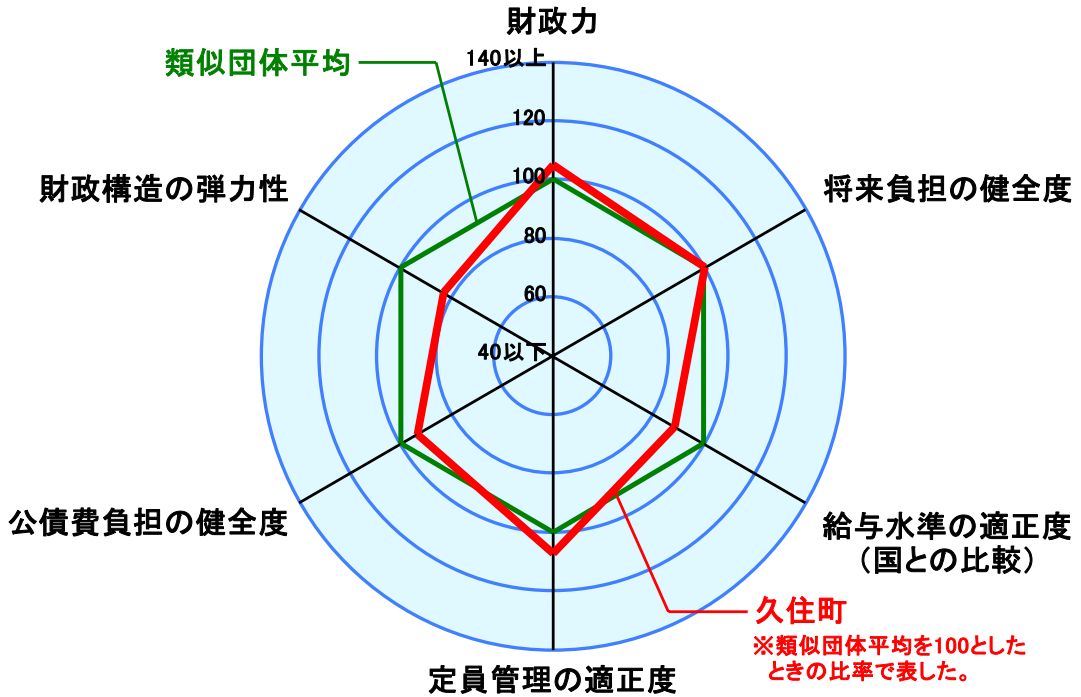
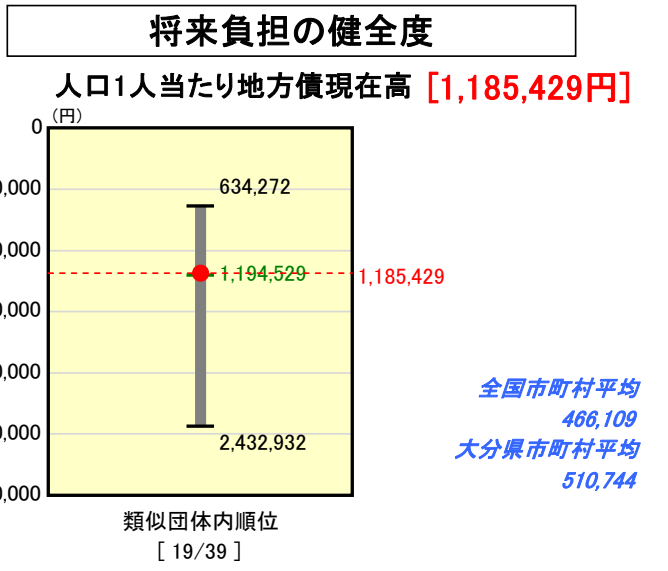
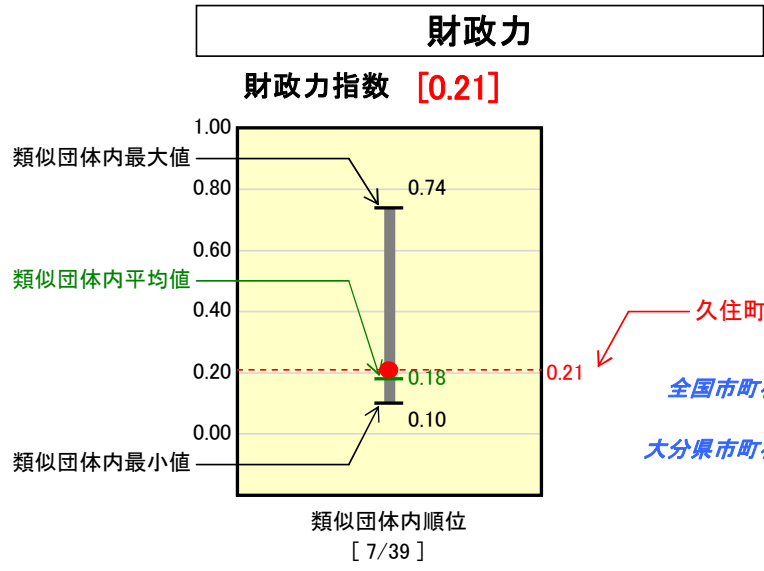


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 大分県 久住町

人口	4,825人(H17.3.31現在)
面積	142.69 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,899,253 千円
歳出総額	3,952,671 千円
実質収支	-53,418 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

【財政力指数】  
本町の比率は0.21と類似団体内の平均値(0.18)を上回っているものの、過疎化による人口の減少や町内に税収を見込める大きな企業もなく財政基盤は脆弱である。このため、活力あるまちづくりを進めながらも、集中改革プランに沿った事務事業の効率的・効果的な財政運営に努めることにより、財政の健全化を図っていく。

【経常収支比率】  
市町合併に伴う打ち切り決算により、通常の出納整理期間中に収入すべき歳入が未収となったことなどから実質収支が赤字となり、経常収支比率が100%を超える結果となった。平成15年度の経常収支比率は、類似団体平均が96.7%に対し本町92.5%と、もともと高位にある。これは国の景気対策に伴う普通建設事業を実施してきたことによる公債費の償還がピークを迎えており、このことが経常収支比率が高くなった主な要因である。

【起債制限比率】  
普通建設事業費に係る起債の償還等に併い類似団体平均をやや上回っている。今後は住民ニーズを的確に把握した事業を取捨選択し、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

【人口1人あたり地方債現在高】  
類似団体内の平均値を少し下回っているものの、全国市町村で見ると平均値を上回るものとなっている。次年度以降、市町合併に伴う合併特例債借入による基金創設、また、緑資源機構総合整備事業負担金の一括償還による起債借入など、通常事業枠外の大型起債借入を行うことから、不要不急の事業は行わず、市民ニーズ、行政需要の実態に即した事業を厳選し、起債借入額の限度枠を設定するなど、さらに起債借入の抑制に努めていく。

【ラスパイレス指数】  
近年の給与水準も概ね抑制傾向にあるものの、類似団体の平均値と比較するとまだ高位にある。今後は、平成17年4月1日の市町合併に伴い、新市の総合的な行政改革実施計画のなかで、給料、手当等の総点検を行うことにより、なお一層の人員費の適正化に努める。

【人口1,000人あたり職員数】  
久住町: 15.34人(74/4,825人×1000)  
全国市町村平均: 8.12人 大分県市町村: 9.40人 類似団体平均: 18.03人  
本町では、これまで退職者の不補充等による職員数の削減を図ってきた結果、類似団体の平均を大きく下回っている。平成17年4月1日の市町合併により、新市の職員数は増えるが、行政改革実施計画や定員管理計画に基づき、適正水準への見直しに努める。

